

JAITI 8

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

JAITIとは、「財団法人日本農業研修協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、アジア・アフリカ諸国の農村地域社会の人々が、「生きる糧料」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発行 (財)日本農業研修協力団
住所 〒386-05 長野県小県郡武石村19436
TEL0268-85-3465 FAX0268-85-3583

今日のジャイチ

半年に一回お届けする、この広報誌も、八号を迎えるに至りました。皆様はジャイチを支援して下さる、最大の原動力「継続の維持」を持ち続けて下さった馬と、厚く御礼を申し上げます。

又、この主旨を、郵政省国際ボランティア貯金、社団法人国際農林業協力協会(AICAF)、環境事業団地球環境基金の関係各位の方々が、暖かくご理解いただき、昨年と同様、当団へ事業活動費を助成下さり、予定していた事業を、順調に展開しております。

●新任理事長に室賀弥三郎氏が就任
当財団の設立準備期間中及び、設立後の諸多難時に、初代理事長として、強力な指導力を発揮して、運営に携わって下さった、小林茂夫氏が、平成六年六月二十九日、八十九才で他界されました。

●第二期評議員の就任
平成六年十二月十一日開催の理事会に於て、任期満了に伴う、評議員選任を致しました結果、第一期評議員全員の再任と、新任一名の方々に、第二期評議員の就任を、お願いする事になりました。

任期は、平成七年一月一日より平成八年十二月三十一日迄の二年間です。

●ジャイチネパール支配人交替
カトマンズに事務局設立以来、支配人として勤務していた、ナワン・ドルジ・シェルバ氏は、一九九四年八月末日をもって、退職しました。

●ネパール情報
11月15日
総選挙を実施
立候補者一、四〇〇人、投票人口一、二〇〇万人、投票率五〇%と伝えられる中、全国の陸上交通を止めて下院選挙を実施した結果、二〇五議席のうち八十八議席を、統一共産党が獲得し、単独政権を正式に発足。

同党、マン・モハン・アディカリ議長は、十一月二十九日、ビレンドゥラ国王より新首相に任命された。



●植林は最低でも、50年の視点が必要。考える間にも、一本でも先ず植えることが大切ではないでしょうか。

●第二期評議員決定
・室賀弥三郎 長野県上田市 社団法人長野県植物防除協会会長
・鈴木純子 東京都渋谷区 地域総合研究所所長

●ジャイチネパールの事務所移転します
ネパールの活動拠点として、一九八九年以来、評議員のロブサン・テンジン・シェルバ氏の、カトマンズの自宅の一部を提供戴いて、住居として、事業を進めてまいりましたが、創設期の諸事も一段落したこと、貴重な財源の有効利用を企図するための、FAX:977-1-290816

●バザール支援をありがとう
国際協力フェスティバル、十月一・二日(日比谷)・文京女子大学国際女性学研究会セミナー。十月二十九・三十日(大井町) (常務理事 前田健介記)

●ジャイチネパール支部設立
この選出は見事の中、首都カトマンズでは、定員七議席を全て独占。周辺都市部も同様の大勝利に終る。

●ジャイチネパール支部設立
合理的な助成を受けて、来る、二月一日より、カカニ農場内に移転致します。

●ジャイチネパール支部設立
合理的な助成を受けて、来る、二月一日より、カカニ農場内に移転致します。

●第二期評議員名簿
井出守雄 長野県小県郡武石村 監査役
岩崎吉一 東京都立川市 株式会社緑化代表取締役
氏原輝男 長野県上伊那郡南長輪村 信州大学教授
工藤れい子 長野県上田市 上田市中畑田小学校教諭
小林 弘 神奈川県大和市 小林歯科医院院長
戸塚 勇 東京都府中市 都市近郊野菜生産日営
林 淳一 長野県小県郡長門町 高原野菜生産日営
松浦 浩 神奈川県足柄上郡大井町 ジャイチ指導員
森 精 東京都杉並区 金城学院大学教授
由井直人 東京都文京区 映吉本会長
ロブサン・テンジン・シェルバ 檀高県二本松市 国際協力事業団

●ジャイチネパール支部設立
合理的な助成を受けて、来る、二月一日より、カカニ農場内に移転致します。

●ジャイチネパール支部設立
合理的な助成を受けて、来る、二月一日より、カカニ農場内に移転致します。

●ジャイチネパール支部設立
合理的な助成を受けて、来る、二月一日より、カカニ農場内に移転致します。

●ジャイチネパール支部設立
合理的な助成を受けて、来る、二月一日より、カカニ農場内に移転致します。

●ジャイチネパール支部設立
合理的な助成を受けて、来る、二月一日より、カカニ農場内に移転致します。

シンパンジャンの 学校便り

在校生、二学年二組で合計五九名の生徒が、学年最終月を元気に学んでいます。

二月からは、新入生三十名を加えて、九〇名になります。学年が、留年する子、飛級する子があるが、悲喜こもごもの心境で、期待と不安の入り混る中、懸命に努力をしています。

新しい通学用靴も、縫製工場より布を二寄付置き、東京在住の支援者の方が、九十個縫い上げて下さいました。特に今回は、その方のお孫さんが、一個一個に消えない絵の具で、様々の絵まで付けてくれました。この中には、海と鯨の絵もありですが、山国のネパールで、先生と生徒に、どう説明したら正しく理解をして貰えるか、今から嬉しい悲鳴をあげています。

学校の白樺は、恐らくネパールで一番と白樺出来る、きれいな環境です。彼所は臭く無く、何時も清潔が行き届いています。用便の故と給食前には、必ず手洗を

実行します。教室に入る時は、靴の泥を落として入ります。校内に「ゴミ箱」は一切散らかっていません。しかも、是等のことを、生徒一人一人が当然の様にしています。勿論入学時は別ですが。

こんなことがありました。親の参観日、タバコの吸殻や食物の包み紙を捨てた人がいました。これを見た生徒の一人が走り寄り、拾ってゴミ箱に入れるのです。

ここまで、きれいな環境を保つ習慣が身に付きました。このまま大人になってくれば、地域の環境は変わり、病氣も半減すると、期待大です。日本人もこうありたいと思うのは、欲張りなのではないかと思う所です。



校内各所にドラム缶で作った「ゴミ箱」を置いてある



手洗場

用便のあとは、水で手洗してから赤いバケツのクレンジール石けん液で消毒

昨年七月二十七日カトマシズ到着、翌朝、菊池氏が私の電話に、「私が今、ネパールにいるのは、夢のようです」と答えて一年半が経ちました。カカニを去る前に、幾人の人々と知り合えたのかと、会えば挨拶を交す人を数えすと百人余り。査証の関係でカカニ農場でお世話になったのは一年程ですが、この（百人の人々）がカカニに住んだという実感を私に与えます。

ネパールでの日本人の活動を紹介しますと、やはり言語、慣習等の、育った生活環境の異なる人々が相互に理解し、活動するには時間が必要で、ジャイチの活動を円滑にするには、ジャイチが何故ネパールで活

「NGO」

一般参加フォーラム

1/29 東京・代々木

ネパールで活動するNGO（ジャイチもNGO）の支援を目的に設立された「ネパールNGO連絡会」が、左記日程で開催されます。

今回の全体テーマは「NGO、ネパールのニーズを探る（経験の共有）」。

動しているのかという観点、日本人の活動を理解し、自分達はどうかすればよいのかを考え、協力してくれるスタッフの育成が重要だと思われま

カカニでは、現在五名の子どもがジャイチ関係者の援助を受けカトマシズ・アベックス寄宿学校に在学しています。カカニの学校には最終学年までありませんし、カトマシズと比較して教育内容も低いようです。農場内にある補習教室（現在シンパンジャン学校のハリー校長が、地元校での授業を補うため自主的に農場の仕事の前後に近所の子供を集めて教えた）が始

かかえる多くの問題、ネパールの社会変化やニーズへの対応の難しさが浮き彫りになりました。こうした現状の中でNGOを考え、NGO活動を原点から問い直す機会でもあるとの意味を含めテーマを決めました。

第四回となる今回の総会では会員規約と次年度運営体制の裁削が重要課題となっています。フォーラムは「ネパールの活動現場から」の提言のテーマで基調講演とジャイチの菊池事務局長を含め三名の活動報告が行なわれる予定です。NGOに興味をもっている一般の方にNGOの活動を理解してもらえらる機会となることを期待しています。

ジャイチもこの企画を全面的に支援し、連絡会の運営員の一人名もある菊池事務局長を始め、ジャイチ協力者（ボランティア）二名が実行委員として活動しています。

ネパール、ジャイチ、NGO活動に興味のある方は是非参加して下さい。また、当日の手伝い（ボランティア）も募集しています。

で増着した援等は翌朝農場にきました。初日は一時間半の取りで帰りましたが、次の日は物足りなそうなるので子供に手伝う時間をまかせますと、午前中ずっと手伝い、最後には終業時刻の四時まで、石拾い、草取り、苗の定植等を手伝いました。松浦氏もこの内一人でも農業に興味を持つてくれれば、思い切り仕込みたいと目を細めています。

農場にはランパードとという有望な青年が研修を終了しても残り、松浦氏の頼みを聞いて、私の我儘を許してくれた家族、私の家に育て、地域の農業指導者にする予定です。彼がス

プログラム

一月二十八日（土）
十四時～十七時 総会
十七時～
一月二十九日（日）
九時～十一時 「ネパールNGOハンドブック」
十三時～十七時 一般参加フォーラム意見交換会

代々木オリンピック記念青少年センター（東京都新宿区代々木）
参加費 フォーラムのみ
参加の方 五百円
○詳細は事務局に問い合わせ下さい。（玉木 隆）

スタッフの第二世代とすれば、アベックス学校の子供達が将来、日本人を知った第三世代のスタッフに、と願っています。スタッフ育成、カカニの地域振興のためにも、知識を得、その知識を駆使し物事を考えるトレーニングの場としての学校へ意欲のある子供を進学させる必要があります。

最後になりましたが、カカニで広範囲に渡って御教授下さった松浦浩氏、滞在の機会を与えて下さった朝ジャイチ、支援者の皆様に厚く感謝申し上げます。この場をお借りして、協力してくれた友人に、私の我儘を許してくれた家族、私の行動に反対しつつも、里親

カカニ農場ボランティア記

カカニ農場ボランティア記

和田 恒夫

カカニの学校に在学しているのは、現在五名の子どもがジャイチ関係者の援助を受けカトマシズ・アベックス寄宿学校に在学しています。カカニの学校には最終学年までありませんし、カトマシズと比較して教育内容も低いようです。農場内にある補習教室（現在シンパンジャン学校のハリー校長が、地元校での授業を補うため自主的に農場の仕事の前後に近所の子供を集めて教えた）が始

第五回 「ネパールの農場と学校」 訪問の旅に参加して

柴田 都志子

一九九四年十一月十二日の朝、成田、名古屋、関西の各空港を飛びだった計十九名の参加者は、香港で合流後ロイヤルネパール航空の便で、その晩無事にカトマンズ空港に到着。同じ便で到着した長野県松本市からの友好使節団の一行がテレビ取材のフラッシュを浴び、レイを掛けられて歓迎されるのを横目でみながら、入国手続きの長い列に加わる。

宿泊先は、経営者の夫人が日本人というサンセット・ビエー・ホテル。翌朝、美味な納豆つき和風朝食をすませると、横濱の高橋さんに案内されて、庭先にあるサクラの花を見に行く。横濱によるとネパールのサクラが日本のサクラの原種だという。後にも街道筋でサ

クラ並木をみかけたが、花は小粒で色も淡い。高橋さんは数年前からネパールの北西部の地域で日本のサクラの植樹活動に燃えている。今回も内田さん、高岡さんと三人で苗木を抱えて出発。私たちネパール訪問初めての組は女性ばかり七人で、至本さんの引率のもとに早速飛行機でボカラに向かった。機上ではじめて見るヒマラヤ山脈がまぶしかった。ドラゴン・ホテルで荷物を解きランチボックスを持ってトレッキング。標高差はわずか五〇〇メートルだが、経験といえは谷間雷に登って転んで、年が若いものいことをして、と医者に冷笑されたことがあるだけの身には、きつい数時間の行程だった。それを慰めてくれるかのように下山まきわに表が晴れて、白い雲をいたたく連山が姿を現した。翌朝六時にはホテルの屋上から、赤富士ならぬ赤焼けのアンナプルナ、マチャブチャレを拝む。ちなみにマチャブチャレとはヒンズー教で神聖の象徴とされる魚の尾を意味し、ゆえにこの山だ

けは登山禁制だとか。午前九時にバスでホテルを出発。道路の落石事故でやむなく大輪に迂回して、険しい山道を越えて南下。月光の下、カヌーで河を渡断してチトワン国立公園に到着。野営式の宿泊施設に、都志子は興奮の面持ちだった。翌朝はエレファント・サファリ。サファリといってもケニアの草原とはちがいで、目撃されたのはわずかにサイ、サル、シカくらいだった。むしろ象のけつして悪臭ではない温かい体臭や、その好物だというエレファント・グラスを知ったのが収穫だった。そしてジーンズの上からも容赦なく刺してくるブヨ。クライマックスはジャイチの開設した学校訪問と、その後続く月

下のスリリングなカトマンズへの帰途の旅。手鞠せぬ事故のせいとはいえず、今回の旅で最も期待していた現地の生徒や教師たちとの交流ができなかったことは残念だった。しかし同じくジャイチの農場で出会った若者たちの笑顔は美しく、試食したイチゴやサファリも絶品だった。カトマンズのバザールやバタンの寺院も、異文化を加えて見せてくれた。玉木さん、お世話になったジャイチ関係者に感謝の意を表します。

第六回 JAITI! ネパールの農場と学校訪問の旅

参加者募集予告

今年も実施します。ご希望の方は、今から日程を組んでおいて下さい。日程 十一月十一日(土)～十一月十九日(日) 費用 三十一万円を予定。これで、出国から入国まで財布は不要です。案ジャイチが主催して、案内しますが、旅行業者のバックツアーではありません。人と人とのふれあいを楽しんでみて下さい。テレビ・新聞を忘れてネパールの生活に慣れ、親で、嗅いでみましよう。



昔をつかい湯タンゴ付舞台でした。ネトワン国立公園内にて。

次期事務局長候補決まる

前号のニューズレターにて、事務局長を募集しましたところ、二名の応募がありました。選考の結果、次期ジャイチ事務局長候補に大高木勝明氏(45)が決まりました。大高木さんは、お金では買えないものに価値を感じ、この仕事が無給であることに賛同し、決断されたとのことでした。

パソコン入力ボランティア募集

IBMのパソコンで、ワープロとDBASEを使い住所録・台帳の入力をお願いします。作業場所は、武石村事務所。ご参加下さい。

編集後記

ジャイチにまた有力なスタッフが加わり、新たな雰囲気でのびのびと継続してゆくでしょう。新理事の猪爪さんが、ジャイチ事務所の隣りに、別宅を建てました。空いているときは、遠路よりボランティアにいらつしやる方々の宿泊に使ってくださいます。の申し出を受けています。「新光線のある山々の中朝夕の田舎風景」付き、昼は「さびしいボランテア」こんな平日常性の中に身を置いてみてはいかがですか。さつと心の洗濯ができること受け合いです。(製)

ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何れも心に留めて下さり、感謝申し上げます。運営されている財源その他について説明とお願いを致します。ご協力をお願い申し上げます。

1. ジャイチ基金……財団法人ジャイチの基本財産の確保
基金を信託銀行で運営し、その果実(運営費)でジャイチ活動の基本部分を確保することを目的としています。直接草、多年草、果樹のようなものです。基金が大きくなればなるほどジャイチの財源が豊かになります。
・基金へ寄付して頂いたお金は何十年何百年あともジャイチと共に蓄積の確が積ります。
2. ジャイチ維持費……ジャイチの運営維持費
基金から生み出される財源では今のところ活動に不足を来します。そこで今必要な活動に役立てる目的のものです。一年草のような春播きで秋に収穫して終わります。・当分の間、この維持費はジャイチの活動に欠かせない費用です。
3. ジャイチ事業費
新たに大きい費用のかかる事業を計画した時にその応援費用として確保することを目的としています。
・通常の予算(ジャイチ基金の果実、ジャイチ維持費で組まれる)では賅いきれない時に臨時に集める目的の特別金です。
・必要な時に皆様にお願いのお知らせをさせていただきます。

ジャイチでは上の3つのような形でご寄附をお願いしております。何にご寄附下さったのか、お数え頂きますと幸いです。もしも特に指定のない場合は基金と維持費に半分ずつ使わせて頂きますのでご了承下さい。

郵便振替 00510-4-65434
振込先 番号 銀行振込 八十二銀行丸石支店(曾)42677
口座名 財団法人日本農業研修場協力団
住 所 〒368-05 長野県小県郡武石村456
電 話 0268-85-3485 FAX 0268-85-3583
尚、金額に関しては規定がございませんので、お振りお振りご自分でお決め下さいますようお願い申し上げます。(例えば、収入の1%を、小遣の1%を、約な考えは如何でしょうか。)